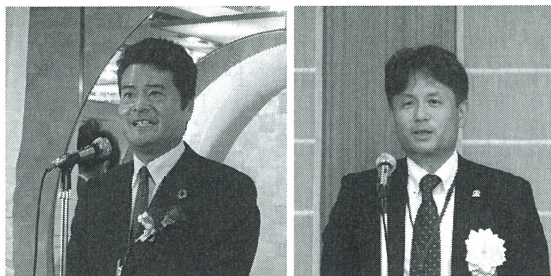


TOKYO X Association 総会、新会長に中村敏章氏



TOKYO X Association (小石伸市会長) は29日、東京都内で令和4年度総会を開催。4年度事業報告、5年度事業計画など上程全議案が承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、新会長に中村敏章氏(株人形町今半)を選任した。小石会長(右写真)は「このような形での総会開催は4年ぶり。その間にTOKYO X Associationの形や活動なども変わってきた。総会および懇親会の一番の目的は年に1度ではあるが、多くの会員、関係者から意見をいただくこと。今回も活発な意見の交流の場としていただきたい」と述べた。

TOKYO X Associationでは、TOKYO Xの精肉提供や商品販売など、地域イベントやスポーツイベントへの参加、協賛を行っており、今後も精力的に実施していく。また、事務局サイトではTOKYO Xにまつわる紹介はもちろん、都道府県別、業態別に認定店舗の検索が可能。さらに各種SNSとも連動し、アクセス数を伸ばすよう周知している。今年度は第2フェーズとして、料理レシピ、取扱店からのメッセージを新たに作成。アクセス解析により、今回の第2フェーズを分析、将来的なマーケティング対策として利用する。さらに昨年度に続き、増頭への取り組みや品質向上を目的とした枝肉検討会を生産組合との調整の上実施する。

懇親会であいさつした中村新会長(左写真)は「私がTOKYO Xと出会ったのは、人形町今半に入社し本店で精肉を切っていた30年近く前。現場の声をきき、開発されたのがTOKYO Xだ。実際にお客さまからは『本当においしい』『クセがない』『ほかの豚肉が食べられなくなった』といった声を多くいただく。当社は約130年続く会社だが、継続することが重要であり、TOKYO Xも販売し続けることが非常に大切。そのためには品質安定、そして新たな顧客をつかむことが自分に課せられた使命である。ぜひご協力いただきたい」と呼びかけた。来賓からは小田原潔衆議院議員が祝辞。生産組合関係者も登壇し、TOKYO Xのさらなる品質向上、安定供給に向けて決意を述べた。会場ではTOKYO Xの焼き肉、しゃぶしゃぶ、ハンバーグ、チャシューなどのメニューが提供された。新役員体制は次のとおり。

会長 中村敏章(人形町今半・新任) ▽副会長 両角淳(株ミート・コンパニオン・新任) ▽理事・監事 辻谷満(株セントラルフーズ・新任)、小石伸市(ミート・コンパニオン・新任) ▽理事 笹英典(株エムアイフーズ・重任)、石川彌八郎(株大多摩ハム小林商会・重任)、佐山訓久(そば処 えびす家・新任) ▽幹事・事務局 瀬角淳(ミート・コンパニオン・新任) ▽事務局 佐々木雅之(同・新任)、藤江路子(同・新任)